

TIC NEWS

vol. **100**
2011.7

(公財) とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

インテックビル4F (タワー111)

TEL (076) 444-2500

FAX (076) 444-2600

E-mail : tic@tic-toyama.or.jp

URL : <http://www.tic-toyama.or.jp>



ヤキーナ・ベイ・ブリッジ オレゴン州の沿岸部の橋を多く設計した土木技師コンデ・マッカローの代表作

～富山県・オレゴン州友好提携20周年～

今年で富山県とアメリカ合衆国オレゴン州は友好提携20周年を迎えます。

新東京国際空港(成田)からオレゴン州最大の都市ポートランドに毎日直行便が飛んでおり、自然、風土、産業など富山と似たところが多いオレゴン州。今回はその魅力についてご紹介します。

イングリッシュ・チャット

日時：毎月第1・第3水曜日 19:00~20:30

場所：(公財)とやま国際センター ラウンジ

当センターでは長年にわたり、イングリッシュ・チャットを開催しており、現在のコーディネーターは今年2月に来県したアメリカ出身の国際交流員堀口陽世さんです。毎回外国人のゲストも3、4名参加され、25名程度の参加者で和気藹々と会話を楽しめます。

毎回テーマは異なり、身近なおもしろいことや各国事情についてグループに分けて簡単な英語で自分の考えを話します。とりわけ旅行や国際結婚などの話は盛り上がります。また、時には、貧富の格差や気候温暖化など現代社会に存在する難しい問題についてまで話が繰り広げられます。県内の方々には、外国人のゲストに接し直接海外の事情を聞くことができ、富山の良さ・悪さも改めて認識できる場になっているようです。参加者からは「生きた会話は楽しい。自分の力を試すことができる」、「英語が下手であり喋れなくても英語の世界を楽しめる雰囲気なので、気軽に來ることができ」といった意見が聞かれます。

申込み、予約は一切不要ですので興味のある方は是非お気軽にお越しください。



お茶っとルーム

日時：毎月最後の火曜日 18:30~20:30

場所：環日本海交流会館大会議室

各国出身の国際交流員が交代でコーディネートするお茶っとルーム。毎月最後の火曜日に、各国の文化を、お茶を飲みながら楽しもう！という企画です。

4月26日はロシア出身の国際交流員アナスタシア・シェルバチュックさんがマトリョーシカの絵付けを行いました。

5月31日はブラジル出身の国際交流員エヴェルソン・レモスさんがテーブルボタンサッカーを紹介しました。

毎回様々なテーマで各国を体験するお茶っとルーム。是非、皆さんもご参加ください！

語学講座

日時：毎日 18:30~20:00

場所：(公財)とやま国際センター研修室

中国語（入門、中級）、韓国語（入門、初級、中級）、ポルトガル語（初級）、ロシア語（入門、中級）の8講座で開催している平成23年度の語学講座。5月から総勢193名が受講されています。数年前からのリピーターも多く、中には1人で複数の講座を受講される方も…。

語学講座は平成24年3月まで続きます。



新しい国際交流員よりご挨拶！

し えい 司 穎さん（中国）

皆さん、はじめまして、中国遼寧省外事弁公室の推薦で、今年から国際交流員として富山県で勤務させていただき司穎と申します。

来る前に、富山県の立山、黒部峡谷、チューリップの花、ホタルイカなどたくさんの魅力を見聞きし、すでに富山県のファンになって日本に参りました。

そして、6月1日初めて富山県の土を踏んだ私は、まず現地の人々の優しさに感動しました。大学を卒業して12年間程度、日中交流の仕事をやってきた私は、3月の関東大震災でとてもショックを受けました。しかし、こういう時期だからこそ、震災後の日本の現状を知らない多くの中国人に現在の日本の様子を伝えることは、今の私にとって大事な使命ではないかと強く感じております。

より多くの中国人が富山県の魅力を体験することができるために精一杯がんばります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



外国人のための日本語ボランティア養成講座

会場：環日本海交流会館

日時：平成23年6月2日(木)～8月4日(木)

毎木曜日 全10回 18:30～20:30

今年の養成講座は次の4点を目標として開講しました。

- ①地域の日本語教室の活動を知り、ボランティアに求められているものを学ぶ。
- ②最も新しい地域外国人住民への日本語学習支援の方法を学ぶ。
- ③講座で学んだことをもとに、地域の日本語教室での活動を開始する。
- ④地域日本語教室で行う識字教育に関する基本的な知識を学ぶ。



講座の第1回目では「活動～はじめまして！お互いのことを知り合いましょう」というワークショップを行いました。

初対面の人間がお互いを知り合うときには「自分との違いや共通点など、相手への関心を持つことが大切」「笑顔」「あなたとの会話を楽しんでいますよ」という気持ちを表すことが大事」などということを受講者で確認しあいました。

そして、海外生活を体験したことがある受講者からは「“外国人”として、ある地域に生活した経験から、習慣の違いやわからないことなど小さなことの積み重ねが不安を大きくする。」、身近に外国人と接することが多い受講者からは「言葉は気持ちを伝える道具、まずは、気持ちを大切に、わかりやすく相手に伝えることが大切だと思う」などの意見がでました。

「教える人＝日本人、教えられる人＝外国人」という関係ではない双方向の学びの場としての地域日本語教室、その担い手に求められる大切なことを受講者に感じていただいた、第1回目の講座となりました。

オレゴンと日本

北米先住民がオレゴン・レゴントレイルを通った。

日系アメリカ人の歴史0.4%を占めます。オレゴン系人コミュニティが

そんな日系移民の足跡センターや日系アメリカンです。この公園はロバートすることができます。

またポートランドにはあります。1963年に造園家Garden誌が日本国外の本格的日本庭園です。



日系アメリカ



オレゴン州

州 都：セイラム

面 積：254,806 km²

人 口：3,831,074人

国際交流員の堀口陽世です。3歳でアメリカに移住し、カリフォルニアで育ち、ポートランドにも5年住んでいました。今回はオレゴンの魅力をたっぷり皆さんにご紹介します!!

(隣りはお主人でオレゴン育ちのジェイソンさん。後ろに見えるのはマウント・ジェファースン。)

Welcome to Oregon !

太平洋沿岸の美しい海岸線、マウントフッドをはじめとする美しい山々、クレータレイク国立公園などの大自然に恵まれたオレゴン。シリコンフォレストなどの最先端工業地域も有し、環境にも優しい、住みやすい街。見所たくさんのおレゴンの魅力のほんの一部を紹介します!

“食”の宝庫オレゴン



各国の屋台

また地ビール醸造所も多く、日本にもオレゴン産の地ビールが輸入されています。オレゴン最大の都市ポートランドでは、各国料理のレストラン、屋台がひしめき、その多くがベジタリアン対応になっています。ポートランドはニューヨーク、サンフランシスコ等と共にベジタリアンの多い街として知られています。

豊かな自然に育まれたオレゴンは、その食文化もまた豊かです。ヘーゼルナッツ、ブラックベリーは国内第一位の生産量を誇り、ベリー類などの果物、カキ、鮭などの魚介類、また乳製品の生産が豊富です。松茸までもが収穫されています。

そして、オレゴンワインもとても有名です。19世紀半ばのオレゴンへの入植とともにオレゴンワインの歴史は始まりました。1960年代に入って肥沃な土壌をもつウィラメット渓谷に数人のワイン生産家がピノ・ノワール種を植え、ワイン生産が拡大されました。1980年代には様々な賞を受賞し、国際的な認知を高め、今では300を超えるワイナリーがオレゴンにはあります。



ベリーワッフル

ンに定住を始めたのは16世紀中頃です。その後白人がオレゴンに移住を始め、1859年に正式な州となりました

史は19世紀末にさかのぼり、現在はアメリカの総人口のオレゴン州にはハワイ、カリフォルニアなどに並び大きな日本庭園があります。

取りを見ることができるのが、オレゴン日系レガシー・日本人史跡公園(Japanese American Historical Plaza)です。ヘンリー・ムラセ氏が設計したもので、春には美しい桜を見

る。また、実に面積約6700坪の広大なポートランド日本庭園があり、戸野琢磨氏によって設計され、Journal of Japanese Gardens誌における300の公共の日本庭園の中で1位にランク付けた



ポートランド日本庭園



日本人史跡公園

また日本初のネイティブスピーカーの英語教師はオーストリア出身のラナルド・マクドナルドでした。スコットランド人の父とアメリカ先住民の母の間に生まれたマクドナルドはアメリカ先住民のルーツは日本人だと信じ、ずっと日本に来る夢を持っていました。

1848年、24歳のマクドナルドは鎖国中の日本に遭難を装い入国しました。(密入国は死刑になるため。)本国に送還されるまでの半年間14人の通司(江戸幕府公式の通訳)に英語を教え、彼の最も優秀な生徒、森山栄之助は後にアメリカ海軍軍人ペリーが開国を求め来航した際に通訳を務めました。



ラナルド・マクドナルド

“祝・友好提携20周年” オレゴンからメッセージ

レベッカ・コーフェルトさん ~2011年富山カップ日本語スピーチコンテストで最優秀賞を受賞されました~

はじめまして。私はもうすぐ21歳になる大学生のレベッカ・コーフェルトと申します。オレゴン州で生まれ育ちました。州内のリンフィールドという私立大学の四年生です。専攻は数学で、副専攻は日本語とコンピューターサイエンスです。私が日本語を勉強し始めたのは大学一年生の時でしたが、高校の頃から日本語に興味を持つようになりました。そのきっかけは日本の音楽です。色々な歌手の曲をインターネットで調べてみましたが、歌詞の内容が全然分からず、どうしても分かるようになりたかったのですが、私の高校には日本語のプログラムがなかったため、大学に入ったら日本語を勉強することにしました。

卒業後は大学院に入って、数学とコンピューターサイエンスと日本語の勉強を続けたいと思っています。そして、大学院を卒業してから、日本語を生かせるコンピューター関係の仕事をしたいと思っています。

今年11月、富山研修旅行をさせていただきます。富山県に行くのは初めてですので、とても楽しみにしております。できれば、オレゴン州の魅力(文化や大自然など)を紹介させていただきたいと思っています。そして、富山県の人から色々なことを勉強させていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



* 富山カップ日本語スピーチコンテストは、オレゴン州・ポートランド都市圏で日本語を学ぶ大学生を対象に、平成8年から富山県とオレゴン日米協会が主催で実施しているもの。2011年5月の第15回大会までにのべ204名の大学生が参加しました。

国際交流・協力、多文化共生担当市町村課長等会議

日時：平成23年6月3日(金)

場所：環日本海交流会館大会議室

富山県内の市町村、国際交流協会の連携と、国際交流・協力、多文化共生事業の促進を目的に開催しました。

講演では特定非営利活動法人ソムニード専務理事の竹内ゆみ子氏を講師に迎えて、「インドで農村開発、飛騨で地域再生、共通項はコミュニティ」というテーマで講演会を実施しました。

ソムニードはインドやネパールで国際協力活動に取り組んでいますが、何かを与えるのではなく、地域に存在する資源を活用する、地域住民と共に考え共に行動する、というソムニード方式と呼ばれるやり方はODA関係者などからも高い評価を得ています。

また、インドでも日本でも地域における課題は共通しているという考えから、国際協力活動だけでなく国内における地域作り活動にも取り組んでいます。外国人花嫁の支援活動の事例紹介など参考になるお話を聴くことが出来ました。



竹内ゆみ子氏

国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2011作品募集

JICAでは全国の中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状と国際協力の必要性について理解を深め、自分たちひとりひとりがどう行動すべきかについて考えてもらうことを目的として毎年エッセイコンテストを実施しています。最優秀賞・優秀賞・審査員特別賞の受賞者には、副賞として海外研修旅行が贈られます。

【対象】 中学生、高校生 【募集テーマ】 「これからの日本～世界の中で私たちができること」

【募集期間】 2011年6月16日(木)～2011年9月16日(金)

【応募・問合せ】 〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-24 (社)青年海外協力協会内
「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」係



今回はブラジルから届いた日系社会青年ボランティア 常木智代さんからのお便りをご紹介します。

日系社会青年ボランティアとして、ブラジルのベレンに来て、もうすぐ1年です。ベレンは、赤道直下で、アマゾンにあり、暑くて、虫が多くて、治安が悪い。しかし、のんびりしていて、おせっかいなほど親切な人が多くて、果物天国で、そして、ハンモックでの昼寝という幸せが得られる町です。

私は2つの日本語学校で、現地教師と協力し、授業・教材作りを行っています。年齢も教師歴も様々な先生方と、それぞれの知識や経験、得意分野を生かし、よりよい学校作りを目指しています。学生の日本語力（とくに会話力）を上げるために、今年から、カリキュラムを大幅に変えました。先生方の負担は大きくなってしまいましたが、熱心な先生方とどう工夫していくかが課題です。

ブラジルは世界最大の日系コミュニティがある国です。1908年の移住開始から現在に至るまで、日系人はブラジルで認められ、信頼され、親しまれてきました。日本の食文化や伝統文化、アニメ文化等は、好意的に受け入れられ、新しいブラジルの日本文化も誕生しています。

揚げ寿司、苺寿司はよく見かけますし、太鼓・ソーラン・盆踊りのファンは日本よりブラジルの方が多いかもしれません。

3月の震災後には、多くの方が日本を心配してくださり、復興支援のためのチャリティーイベントがブラジル各地で行われました。遠く離れていても、気持ちは近いブラジルと日本を少しでも繋げられる存在でいたいと思っています。



常木 智代さん

派遣国：ブラジル

職種：日系日本語学校教師

派遣期間：平成22年7月～平成24年6月

配属先：カスタニャール日本語学校、
アマゾン日本語学校

～平成22年度外国人住民エッセイコンテスト入選作品より～

【優秀賞】

私から見た富山

何 広梅（中国出身） 富山大学留学生



自転車で10分走れば季節ごとに美しい水田の景色を味わうことができる富山県は、名実ともに備わった田舎です。しかし、ここは都会と雲泥の差がある田舎ではありません。ほとんどの県民は自家用車を2台、3台と持ち、別荘のような一戸建てに住んでいます。ショッピングセンターもあれば、新鮮な野菜や海の幸も溢れています。

ここで私は富山に来てからの思い出をいくつか話してみます。

まずはアルバイト先までの通勤の出来事です。車の普及率が高い富山では自転車に乗っている人は本当に少ないです。日本に来てまだ日が浅いので、大通りを走っていたら、ついでに迷ってしまいました。誰かに聞きたくても、走りすぎる車しかなくて困ったことがあります。雪が降った時は、一番大変です。歩道の除雪はいつも遅くて、アルバイト先まで1時間30分も歩かなければなりません。しかも、たまに通り過ぎる車は、スピードを落とさないの、水と雪の塊がいきなり私の全身に飛んでくるのがとてもいやで、涙をながしたことが記憶に残っています。

しかし、やはり楽しい思い出が多いです。その中で私が一番関心したのは富山県民の親切さです。昨日、「地元の親」（大変お世話になっているのでお父さん、お母さんと呼ぶようになった）から電話がかかってきて「尖閣問題で日中関係がとても悪化しています。富山にも様々な人がいるからあなたたちは出かける時気をつけてね。あまり目立たないようにしてね…」と言われた時、その優しい心遣いに何よりも感動しました。

このように私は富山での3年間、大勢の人の応援をいただきました。「新しい服を買ったんですけど、ちょっと小さいのを買ってしまったので、あなたにあげてもいい」とか「米がたくさんあって食べきれないのよ。あなたに少しあげてもいい」などと支援してくれるのがとてもありがたいです。

郷に入っては郷に従えというように、私も富山の生活にすっかり慣れてきました。自分さえ良ければ周りのことを何も気にしないことが少なくなり、いつも気配りの心でまわりの人と接するようになってきました。

来年の3月までに他の県に行って博士課程の試験を受験しなければなりません。富山にも文系の博士課程があればいいのですが、地方の大学がもっともっと元気になって欲しいです。

平成23年度草の根国際活動助成団体決定！

とやま国際センターでは県内で国際交流・協力活動及び多文化共生活動を実施する民間の非営利団体・グループに対し助成しています。平成23年度助成団体は以下の団体に決定しました。

	団体名	事業名
1	南砺市友好交流協会	にほんご広場 in なんと
2	高岡市外国人の子どものことばと学力を考える会	高校進学を目指す外国人生徒のための学習支援教室
3	富山日伯交流友の会	日伯交流事業
4	高岡市日中友好協会	「歓聚一堂」 「談談説説」
5	富山県日韓親善協会	日本と朝鮮半島 中国大陸2000年
6	いみず多文化共生ことはじめ	いみず市民・多文化交流
7	Arvynia ファッション・ショー実行委員会	Arvynia ファッション・ショー
8	おりがみ“遊々”の会	在日中国人を含むアジア人のための日本文化の体験講座

チキンカレー

レディさんは東日本大震災で被災された人のために、チャリティーインドカレーを企画されました。4月と6月に実施された収益は義捐金として寄付されました。第3回目のチャリティーインドカレーは7月31日(日) 9:30~13:00、水橋ふるさと会館で行われます。12:00頃からの食事のみの参加もOKです！



～作り方～

1. 鶏肉を細かく切り、混ぜ合わせたAにつけ30分置いておく。
2. 生姜とニンニクをみじん切りにする。(できればフードプロセッサーでペースト状にする。)
3. 玉ねぎをスライスし、ジャガイモ、トマト、青唐辛子を中くらいの大きさに切っておく。
4. 大きなフライパンにサラダ油を入れ、やや強い中火にかける。油が熱したら、スパイスを2分炒め、青唐辛子を入れ1分炒める。玉ねぎを入れあめ色になるまで炒める。生姜とニンニクを加え4分炒める。コリアンダーパウダー、ココナッツパウダーを加え2分炒め、ジャガイモを加え2分炒め、鶏肉も混ぜ合わせる。砂糖とトマトと水750mlを加え弱火で30分煮る。必要であれば塩を加える。
5. 最後にバターを加え、できあがり。ご飯やチャパティとどうぞ。



～材料～

- 鶏肉..... 750g
- A {
 - ヨーグルト..... 1/2カップ
 - 塩..... 少々
 - ターメリック..... 大匙1/2
 - レッドチリパウダー 大匙1/4
 - チキンカレーマサラ.....25g
- 生姜.....60g
- ニンニク..... 10片
- 玉ねぎ..... 大2個
- ジャガイモ..... 大3個
- トマト..... 大2個
- 青唐辛子..... 3個
- サラダ油..... 大匙6
- B {
 - マスタードシード..... 大匙1
 - ローリエ..... 4枚
 - 黒コショウ..... 10g
 - シナモンスティック..... 3ヶ
 - クローブ..... 10片
 - カルダモン..... 5片
 - クミンシード..... 大匙1
 - コリアンダーパウダー..... 大匙1
 - ココナッツパウダー..... 大匙6
 - 砂糖..... 大匙1
 - バター.....50g

TICからのお知らせ

これからの行事予定

とやま国際塾

7月16日(土)~17日(日) 富山県呉羽青少年自然の家
*高校生対象

夏休み子ども英語塾

8月22日(月)、8月23日(火)、8月25日(木)、8月26日(金)
14:00~15:30 環日本海交流会館(富山市内幸町6-6)
*小学生5~6年生対象

外国人のための就活応援講座

会場	日時・内容	
射水市立南太閤山公民館 射水市中太閤山13-3-1	8月20日(土)	9月24日(土)
	8月27日(土)	19:00~21:00 日本の雇用制度を 職場で使う日本語を知る
氷見市いきいき元気館 氷見市中央町12-21	10月15日(土)	11月5日(土)
	10月22日(土)	10:00~12:00 日本の雇用制度を 職場で使う日本語を知る
黒部市国際文化センター(コラーレ) 黒部市三日市20	7月3日(日)	11月20日(日)
	8月28日(日)	10:00~12:00 日本の雇用制度を 職場で使う日本語を知る

日本海学講座 ~富山から見える地球温暖化と異常気象~

7月23日(土) 13:30~15:00 県教育文化会館501号室

富山県大学連携協議会公開講座

~環日本海地域の中の富山~

9月3日、10日、17日(土) 13:30~16:20
県民会館302号室

外国人のための災害情報提供“BOUSAI RADIO”

当センターでは防災意識の啓発を目的として5カ国語(英語、ロシア語、ポルトガル語、中国語、韓国語)でのラジオ番組を制作しています。

防災情報に加えて、毎日の生活に役立つ情報や各国で人気の音楽なども紹介します！

*今年度から放送日が下記のとおり変わりました。

ラジオ防災情報番組

FMとやま 周波数 82.7MHz

毎月第一日曜日 18:00~18:55

FM TOYAMA PODCASTING で過去の放送を聞くことができます。

(公財)とやま国際センター 賛助会員募集及び寄付のお願い

公益財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員の方を募集しています。

年会費(1口) 個人会員 3,000円
団体会員 30,000円

また、財政基盤の充実を図るため、寄付についてもよろしくお願ひ申し上げます。